

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

大垣市昼飯地区

平成28年10月

岐阜県大垣市

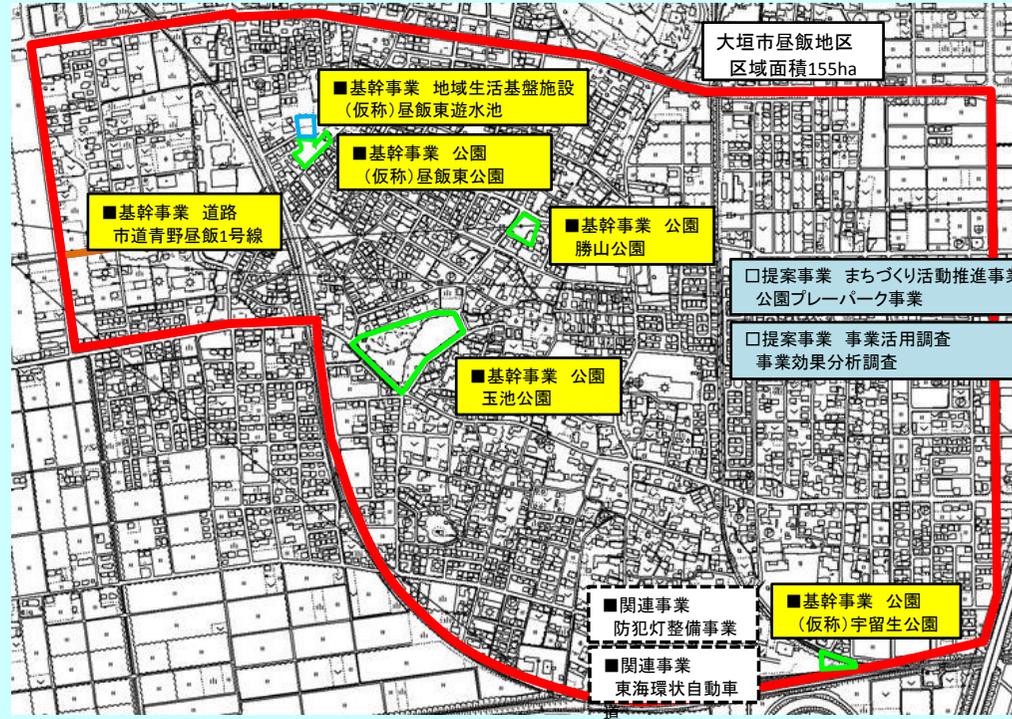
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	大垣市		地区名	大垣市昼飯地区			面積	155ha		
交付期間	平成24年度～28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	368百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	市道青野昼飯1号線、玉池公園、(仮称)昼飯東公園、勝山公園、(仮称)宇留生公園、(仮称)昼飯東遊水池									
			提案事業	事業効果分析調査、公園プレーパーク事業									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	—			—			—			
	新たに追加した事業		基幹事業	—			—			—			
			提案事業	—			—			—			
交付期間の変更		当初	平成24年度～27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—						
		変更	平成24年度～28年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	「危機管理・防災」に関する満足度	ポイント	65.7	H23	75.0	H28	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	（総合所見）	予定時期
	指標2	「子育て支援」に関する満足度	ポイント	85.7	H23	90.0	H28	—	76.4	○	あり なし	遊水池の整備による治水対策や、公園整備による一時避難場所の確保といった安全・安心への取組が効果を発揮した。また、防犯灯や市道の整備も住民生活の安心感の向上に貢献した。	平成29年5月
	指標3	公園利用件数	件/年	20	H22	30	H28	—	81.7	×	あり なし	● ● ●	公園の整備による子育て環境の充実を目指し取組んできたが、それが「子育て支援」のイメージ向上に結び付かなかった。
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1	「公園・緑地」に関する満足度	ポイント	80.5	H23	/		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	（総合所見）	予定時期
	その他の数値指標2	地区センター利用件数	件/年	1,803	H23	/		—	82.2	/	/	満足度が向上しており、計画に沿って進めてきた公園整備の効果が現れたと考えられる。	平成29年5月
その他の数値指標3								2,134	/	/	地域住民の活動・交流拠点である地区センターの利用が増えており、コミュニティが活性化している。	平成29年4月	
4)定性的な効果発現状況	—												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—				
	住民参加プロセス	公園整備に係るワークショップ等の開催 公園プレーリーダーの配置			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●				
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりに対する市民アンケート調査			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●					

様式2-2 地区の概要

大垣市昼飯地区(岐阜県大垣市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:災害に強く、子育て支援施策や健康増進施策の向上、地域コミュニティの活性化による、誰もが快適で安心して、いつまでも住み続けたいまちづくり 目標1:治水対策、防災・減災拠点の充実による、誰もが快適で安心して、いつまでも住み続けたいまちづくり 目標2:地域活動拠点の拡充による健康増進と子育てしやすいまちづくり 目標3:高齢者世代と子育て世代の交流拠点の拡充による地域コミュニティの活性化	「危機管理・防災」に関する満足度	単位:ポイント 65.7 H23	75.0 H28	76.4 H28
	「子育て支援」に関する満足度	単位:ポイント 85.7 H23	90.0 H28	81.7 H28
	公園利用件数	単位:件/年 20 H22	30 H28	26 H27



まちの課題の変化	公園自体への満足度は向上しているが、それが子育て支援への満足度に繋がっていない。親子のふれあいなど、子育ての場として公園を利用する機会の充実が課題である。また、災害時に一時避難場所になる公園を整備したことから、今後はそれを周知し、万が一の事態における住民の速やかな安全確保に努めていくことが新たな課題となる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育ての場としての公園の活用 親子で参加できる地域のイベントに公園を活用してもらうなど、子育て世代が公園をより身近に感じられる取組みを行う。 ○防災・減災拠点としての公園の認知度向上 公園を自治会主体の防災活動等の場として活用してもらうことで、防災・減災拠点としての認識を高める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他(目標年度)	●		平成27年度	平成28年度	計画期間の延長に伴い目標年度を変更したものを。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道青野昼飯1号線	12	L=120m	12	L=105.1m	事業量の見直し	影響なし	●	
公園	玉池公園	160	A=15,000㎡	155	A=15,000㎡	交付対象事業費の減額	影響なし	●	
公園	(仮称)昼飯東公園	105	A=3,300㎡	82	A=3,300㎡	交付対象事業費の減額 事業実施年度の変更(H27→H27~ 28)	影響なし		●
公園	勝山公園	19	A=2,300㎡	19	A=2,300㎡	なし	—	●	
公園	(仮称)宇留生公園	70	A=2,300㎡	70	A=2,300㎡	事業実施年度の変更(H27→H28)	影響なし		●
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	(仮称)昼飯東遊水池	45	V=1,500㎡	22	V=1,500㎡	事業実施時期の変更(H24→H27) 交付対象事業費の減額	影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査	事業効果分析調査	4	事業効果分析調査	4	事業効果分析調査	事業実施年度の変更(H27→H28)	影響なし		●
まちづくり 活動推進事業	公園プレーパーク事業	4	公園プレーリーダー 業務委託	4	公園プレーリーダー 業務委託	なし	—	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
防犯灯整備事業		市内全域	36	36	平成22年度～平成25年度	平成22年度～平成25年度	整備済	
東海環状自動車道		大垣西IC～養老JCT	—	—	平成19年度～平成24年度	平成19年度～平成24年度	整備済	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	事後評価	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	「危機管理・防災」に関する満足度	ポイント	-	-	65.7	H23	75.0	H28	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定		76.4	事後評価	○	
指標2	「子育て支援」に関する満足度	ポイント	-	-	85.7	H23	90.0	H28	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定		81.7	事後評価	×	
指標3	公園利用件数	件/年	-	-	20	H22	30	H28	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定		26	事後評価	△	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	「危機管理・防災」に関する満足度は平成25年度以降、毎年目標値を上回っているため、「○」とした。	-
指標2	評価値が従前値及び目標値を下回る結果となったため、達成度は「×」とした。 評価時点で事業は未完了であり、今後の数値改善はありうるが、目標達成には大幅な数値上昇が必要であり、1年以内の達成は困難であるため、達成見込み「なし」とした。	-
指標3	目標値は未達成であるものの、従前値は上回ったため、達成度は「△」とした。 公園利用件数は長期的には増加傾向にあるほか、H28年度には昼飯東公園、宇留生公園の2箇所が完成予定であり、更なる利用増加が見込まれることから、達成見込み「あり」とした。	-

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
				基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1	「公園・緑地」に関する満足度	ポイント	指標1・指標2と同様の手法により計測	-	-	80.5	H23	モニタリング	-	-	本計画の主要事業である公園整備に対する満足度を示す指標として、本指標を採用した。	-
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標2	地区センター利用件数	件/年	宇留生地区センターと青墓地区センターの平成27年度年間利用件数を計測	-	-	1,803	H23	モニタリング	-	-	地域コミュニティの活性化度合いを示す指標として、本指標を採用した。	-
								事後評価	確定 見込み	●		
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

事業効果分析調査として行った住民アンケートでは、公園整備について子育て世代や高齢者世代を中心に高い評価を得ている。特に玉池公園は、休日には多くの家族連れなどで賑わうようになり、アンケートでも「玉池公園によく行くようになった」といった声が寄せられるなど、住民の交流・憩いの場として効果を発揮している。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公園整備に係るワークショップ等の開催	予定どおり実施した	● 公園整備にあたり、周辺自治会の関係者を交えたワークショップを開催した。 【内容】公園内の遊具等の配置に関する意見交換ほか	引き続き、公園整備にあたってはワークショップを開催し住民の意見を反映させる。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
公園プレーリーダーの配置	予定どおり実施した	● 地区内の公園においてプレーパーク事業を開催した。 【実施時期・頻度】平成24～27年度 計78回 【結果】回を重ねるにつれ、地元自治会の人々が運営に協力してくれるようになり、参加する子どもたちも増えるなど、地域の交流が生まれた。	市内各地の公園にプレーリーダーを派遣する出張プレーパークの一環として、引き続き当地区でもプレーパークを実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
まちづくりに対するアンケート調査	予定どおり実施した	● 本計画区域及び周辺地区の住民を対象に郵送によるアンケートを実施し、計画に対する評価や今後のまちづくりへの要望を調査した。	実施主体：市	アンケートで得られた意見を元に、これまでのまちづくりを検証し、今後の施策に反映する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
大垣市昼飯地区都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	都市計画部(都市計画課、市街地整備課、都市施設課) 企画部(地域創生戦略課)	平成28年10月11日(火)	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標3										
指標名		「危機管理・防災」に関する満足度	公園利用件数										
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見				
基幹事業	市道青野昼飯1号線	○	遊水池の整備による治水対策や、公園整備による一時避難場所の確保といった安全・安心への取組が効果を発揮した。また、防犯灯や市道の整備も住民生活の安心感の向上に貢献した。	○	既存の公園利用が減少しトータルでは目標を下回ったものの、新たに整備した公園では、地域の住民グループや近隣の幼稚園・小学校等の利用が増えた。								
	玉池公園	◎		◎									
	昼飯東公園	△		△									
	勝山公園	◎		○									
	宇留生公園	△		△									
	昼飯東遊水池	◎		—									
提案事業	事業効果分析調査	—		—		◎		※昼飯東公園、宇留生公園は指標計測時点において未完成のため「△」とした。					
	公園プレーパーク事業	—											
関連事業	防犯灯整備事業	◎				—							
	東海環状自動車道	○				—							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	防災担当部署と連携して一時避難場所としての公園を住民に周知し、災害時に迅速に避難できるようにする。	学校の遠足や地域のイベントなどを通じて、地域住民が公園に親しむ機会を確保する。		
-------	---	---	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2													
指標名		「子育て支援」に関する満足度													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類		
基幹事業	市道青野屋敷1号線	—	公園の整備による子育て環境の充実を目指し取組んできたが、それが「子育て支援」のイメージ向上に結び付かなかった。	I											
	玉池公園	△													
	屋敷東公園	△													
	勝山公園	×													
	宇留生公園	△													
屋敷東遊水池	—														
提案事業	事業効果分析調査	—													
	公園プレーパーク事業	△			※屋敷東公園、宇留生公園は指標計測時点において未完成のため「△」とした。										
関連事業	防犯灯整備事業	—													
	東海環状自動車道	—													

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 —：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	親子で参加できる地域のイベントに公園を活用してもらうなど、子育て世代が公園をより身近に感じられ、子育てしやすいまちを実感できる取組を行う。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
大垣市昼飯地区都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	都市計画部(都市計画課、市街地整備課、都市施設課) 企画部(地域創生戦略課)	平成28年10月24日(月)	都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
安全安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・昼飯東遊水池の整備による治水能力の向上 ・公園の整備による災害時の一時避難場所の確保 	—	防災・減災拠点としての公園の認知度向上
多様な世代に対応した公園整備・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公園整備による子育て環境の向上 ・多様な世代の公園利用 	親子のふれあいなど、子育ての場として公園を利用する機会の充実	
地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・公園整備による住民交流の場の創出 ・公園プレーパーク事業を通じた、世代を超えた交流の促進 	—	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	多様な世代に対応した公園利用と良好な地域コミュニティ	公園の利用促進を通じて、地域住民の交流の活性化に努める。	・公園プレーパーク事業 ・適正な維持管理による公園の利用環境の保持

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	子育ての場としての公園の活用	親子で参加できる地域のイベントに公園を活用してもらうなど、子育て世代が公園をより身近に感じられる取組みを行う。	・自治会、子ども会等の行事の場としての公園利用を促進
	防災・減災拠点としての公園の認知度向上	公園を自治会主体の防災活動等の場として活用してもらうことで、防災・減災拠点としての認識を高める。	・一時避難場所としての公園機能の周知、自治会の防災活動等への活用の促進

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
				年度		年度					予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	「危機管理・防災」に関する満足度	ポイント	65.7	H23	75	H28	確定	●	76.4	○	あり	→	平成29年5月	平成29年度に実施する市民意向調査の結果に基づき、満足度を測定する。	—
							見込み				なし				
指標2	「子育て支援」に関する満足度	ポイント	85.7	H23	90	H28	確定	●	81.7	×	あり	→	平成29年5月	平成29年度に実施する市民意向調査の結果に基づき、満足度を測定する。	—
							見込み				なし ●				
指標3	公園利用件数	件/年	20	H22	30	H28	確定	●	26	△	あり ●	→	平成29年4月	平成28年度に提出された「都市公園等内行為許可申請書」の件数を集計する。	—
							見込み				なし				
指標4							確定				あり	→			
							見込み				なし				
指標5							確定				あり	→			
							見込み				なし				
その他の数値指標1	「公園・緑地」に対する満足度	ポイント	80.5	H23	/		確定	●	82.2	/	/	→	平成29年5月	平成29年度に実施する市民意向調査の結果に基づき、満足度を測定する。	—
見込み	なし														
その他の数値指標2	地区センター利用件数	件/年	1,803	H23	/		確定	●	2,134	/	/	→	平成29年4月	平成28年度の宇留生・青基地区センターの利用件数を集計する。	—
見込み	なし														
その他の数値指標3					/		確定			/	/	→			
見込み	なし														

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・ハード整備(公園)と、その利用を促進するソフト事業(公園プレーパーク)を組み合わせることで、公園利用の増加、満足度の向上を実現できた。	・複数の事業の相乗効果により、単体で事業を行うよりも高いコストパフォーマンスを実現する。 ・計画期間中に目標の達成状況を適宜確認し、目標達成を意識した事業執行に努める。
	うまくいかなかった点	・事業の成果を指標の改善に結びつける取組みが十分でなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	・目標と指標との関連性を十分に検討し、適切な指標を選択する。 ・統計を取る場合は十分なデータ量を確保するとともに、年度間のブレが大きい指標は3か年平均を採用するなど、ブレを抑制する。
	うまくいかなかった点	・「子育て支援に関する満足度」は事業内容との関連性が十分でなく、事業の成果を捉えきれなかった。 ・統計調査のサンプル数が十分でない年があり、年度ごとの数値のブレが大きくなった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・公園整備にあたって地域住民のワークショップを開催し、住民の意見を反映しながら事業を進めた。 ・今後のまちづくり方策の作成にあたっては、無作為抽出によるアンケートにより偏りのない意見を集めることができた。	・ワークショップ等を通じて住民のまちづくりへの参加機会を増やす。
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	・市が従前から行っている調査を指標計測に用いたことで、指標計測に係るコストを抑制できた。	・既存の統計調査を活用し、指標計測の低コスト化を図る。
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

●今後、都市再生整備計画事業の事後評価を予定している地区

- ・大垣駅周辺地区 (計画期間：H26～29年度)
- ・中山道赤坂宿周辺地区 (計画期間：H26～29年度)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	平成28年11月1日～14日	平成28年11月1日～14日	担当部署への郵便、Eメール、ホームページからの意見投稿等	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に、市ホームページ及び窓口で原案を公表している旨を記載	「広報おおがき」平成28年11月1日号	平成28年11月1日～14日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	担当部署窓口での閲覧	平成28年11月1日～14日	平成28年11月1日～14日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(高架)にガードレールのみしか設置されておらず、高さがあるので近くで見るとひやりとする。 ・交差点にガードレールがなくて怖い。 ・藪(雑木林)に物が捨てられたり、蛇が出るなどして物騒だ。
-------	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	岐阜大学地域科学部教授 西村貢氏 名古屋大学大学院環境学研究科准教授 小松尚氏	平成28年11月22日(火)	都市計画部都市計画課	大垣市都市再生整備計画事後評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	特定非営利活動法人緑の風理事長 浅野純一氏				

審議事項※1	委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書
	成果の評価
	実施過程の評価
	効果発現要因の整理
	事後評価原案の公表の妥当性
	その他
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成
	フォローアップ
	その他
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認
その他	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。